

提携米通信

2013年6月号・黒瀬農舎



1週間遅れで日植えを始めました。

春先に、長年お米をご利用頂いている関東のご夫婦から「20年ぶりにロッチを再訪したい。」「同じ行くなら桜の時期」との電話を頂きました。

我がロッチは、無料ですが、ご象徴のように、何のおもてなしも出来ません。でも、再訪下さる方が何人もいらっしゃいます。

「再訪」は、どんなお礼の言葉を超えるに値することで、ロッチを準備している側として嬉しく感謝で一杯です。

ところで、このご夫妻は、秋の桜は「例年よりも早い開花」という予想報道を頼って、前半の連休に数日逗留下さったのですが、4月に入ってから予想外の寒さが続き、桜は、ご夫婦の帰りがけにやっと咲き始めました。

結局、我が村目慢の「ソメイヨシノと菜の花ロード」の桜の見頃は、後半連休を過ぎ、例年よりも遅い5月10過ぎまで愉しめました。

このように、今年の東北日本海側は、種蒔きが始まる時期から5月23日まで記録的な寒さと雨に悩まされました。

苗代に種を蒔いたが、連日の寒さで苗が成長しない。日植えの準備をしようとしても、寒さと雨で、日植がぬかるんで作業が出来ない。

5月に入って「3月下旬並の気温」との週間天気予報を聞いて、長年百姓をしてきた人々でも経験したことがない悪天候に、みんな大変心配しました。

どの農家も、こんなに心配や苦学をした年は始めてでしたが、苗は何とか成長し、1週間から10日遅れで、日植えにりました。

その後、5月24日以降、天候は急転直下好転し、今度は逆に「7月並の気温の日」も現れるようになりました。

我が家の日植は、例年よりも1週間遅れですが、本来のペースに戻せました。

特に、我が農舎の場合は、苗作りにも、農薬を使わないため、ビニールハウスで苗代を作る付近の農家と異り露地のプール育苗方式のため、今年の寒さをモロに受けましたが、苗は、成長が1週間ほど遅れただけで、無事に育ちました。

日植え始めは、1度1日となり、保育庫と、幼穂庫の孫たちも日植機に乗って大喜びでした。日植えは来月初めまでかかりそうです。

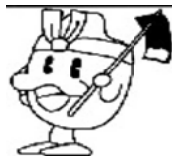
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



☆お暑い時期に
お米の保管に
上余りの気味
や減量の連絡
をご注意す
ず。遠慮なくお願
いしうま

E-mail: akita@kurose.com Web:

提携米 黒瀬農舎

検索

黒瀬農舎恒例イベント 田圃公開・白神ツアー・ブナ下刈り

6月最終の土曜、日曜は、黒瀬農舎恒例のイベントである「田圃公開／日神ブナツアー」を行います。

日神のブナの新緑を訪ねるツアーは、黒瀬農舎の夏の行事として毎年（途中から隔年実施）行ってきました。この記事のように、日神山は、その後、世界自然遺産に指定され、今年はその20周年になるよう



です。我が農舎の日神公開と日神ツアーのイベントは、20年を超えていることに気が付き、何だか感激を覚えます。

今年はいよいよ趣向を加え、初日の土曜日（29日）は、2班に分かれ、1班は、朝8時から、毎年文化の日に行っている馬場目川源流部のブナ植栽地の下刈り。

2班は、午後1時から、黒瀬農舎の日神見学とします。

下刈りは、過酷ハードですので、興味のある方限定。

2班は、黒瀬農舎の無農薬の日神やお米の精米、保管の倉庫など

をご案内し、毎月お届けしているお米の状況を詳しく紹介したいと思っています。

夜は、これも趣向を変え、秋のスローフード運動で付き合っている、ムッシュ鈴木氏をロッチに迎え、イタリアン料理のパーティーを予定しています。

日曜（30日）は、日神山ツアーを朝7時頃出発予定ですが、今年はいよいよブナ自然観察教育林に通じる林道が崩落で通行不能のため、沿岸入森側の十二湖などのブナ林に向かう予定です。

従って、体力に自信のない高齢の方も大丈夫です。

今年の日神は、表のページで紹介のように、過酷な入候の中で育った稲です。6月始めには、除草のための鴨も放つ予定です。どうぞご覧下さい。

多分元気に泳ぎ回っている可愛い鴨と遊んで頂けると楽しみにしています。

黒瀬農舎田圃公開と白神ブナツアー日程

6月29日（土曜）	午前8時～午後4時	馬場目川源流部ブナ植栽地下刈り 又は（上記に参加されない方） 午後1時～午後4時	黒瀬農舎田圃見学
6月30日（日曜）	午前8時～午後4時	白神山ブナツアー	

☆前後日に宿泊されることも可能です。 ☆日程詳細は申込書に追ってお知らせします。

☆30日は、飛行機又は新幹線最終便で東京に当日中に帰着できる日程調整可能です。